

シュミの 「葬送のフリーレン」 人名辞典

2025年冬（147話対応版）



資料というものは探し求めているときが一番楽しい

この同人誌について

この同人誌は、週刊少年サンデーで現在も連載中の作品「葬送のフリーレン」(原作・山田鐘人画・アベツカサ)を、テレビアニメをきっかけにどっぷりはまった筆者が、この作品についての自分の思いを心ゆくまで語りたいのと、すでに膨大な人数が登場しているこの作品のキャラクター(など)についての情報を整理してファン活動や考察の際の役に立てたい目的で作成したものです。

第一四七話までの内容を基に二〇七項目を作成できました。本当に楽しい作業でした。

本書タイトルや一部で古の「ふあんろーど」のノリを入れていますですが分からなくても無問題。

あるキャラクターの名前が作品のどこかで出てきたときに「どこで登場した誰だっけ？」とか思ったことはありませんか？私があります。

そのような方々へのお役立ちになり、あわせてお楽しみいただければ幸いです。

二〇二五年十二月 筆者しるす

凡例

各項目は次の規則で記述されています

キャラ名

本編で名前が出ているものはできるだけ合わせていますが例外あり。項目はこれの日本語読み順に並べています

初出

本編での名前や存在が最初に出た話数です。名前だけ先に出てだいたい後に本人が出てくることもあり。もしかしたら「単行本であるから修正」された要素があるかもしれませんが筆者は昔の連載掲載話はサンデーでまだ読めていませので不明です



アイゼン(1)

*勇者パーティーの戦士

*ドワーフ

*つよい

*頑丈

*自由落下程度では死なない

*竜を昏倒させる猛毒でも平気

*シユタルクの師匠

カット

そのキャラを掌握するために、画像をできるだけ本編から引用しています

説明文

そのキャラの説明です。本書のメイン要素です。原則として本編で伺える事実のみ記しましたが、推定を含むものもありますし、主にカプ関係ではたまに筆者の妄想も強く入ります。



アイゼン(1)

- *勇者パーティーの戦士
- *ドワーフ
- *つよい
- *頑丈
- *自由落下程度では死なない
- *竜を昏倒させる猛毒でも平気
- *シユタルクの師匠



アインザーム(9)

- *幻影鬼
- *中央諸国ヴィレ地方の峠道に出没した
- *他人の記憶を読み取り幻影を見せる魔族
- *フェルン一人だったら餌食になっていた



アウラ(17)

- *自害しろ
- *大魔族七崩賢の一人
- *二つ名は「断頭台のアウラ」
- *服従の天秤を用いた「服従させる魔法(アゼリユーゼ)」の使い手
- *五百年以上の間魔力の研鑽を続けてきた
- *フリーレンの魔力を見誤って自死
- *自死シーンを描いたアニメの第十話「強い魔法使い」(二〇二三年十一月に放映)が神回だったのでブレイク
- *サンデーの人気投票の第二回(二〇二四年三月実施)順位が



アルメー(122)

- *帝国領ティタン城塞(廃城)の城主一族
- *没落貴族のマッチョマン
- *上半身が裸なのは、趣味では



荒くれ者ども(4)

- *交易都市ヴァルムの、酒場の冒険者たち
- *スイーツ大好き
- *人はみかけによらない

NO IMAGE

アミバ(北斗の拳)

- *「葬送のフリーレン」には、登場しません
- *なぜこの項目が存在するかを理解できなくても、何も気にする必要はありません

NO IMAGE

アベツカサ

- *神
- *原作の山田鐘人先生に漫画を描かせるのではなく、作画を分けたサンデー編集の英断
- *シャープな線も、デフォルメギャグ顔もこなせます

二位に(第一回は十位)
 *人気が出たのでアウラ主役の男性向け同人誌の二次創作が多数出現
 *ギャグ系二次創作ではなぜか生きているアウラがパーティーに入って下僕になっているパターンも多数



衛兵隊長(12)

- *城塞都市ヴァールの関所番
- *「この関所は誰も通さない」職務に忠実で優秀
- *フリーレンに土下座



NO IMAGE

アインデラー(94)

- *結界理論の発明者らしい
- *マハトを封印した魔法使いたちの結界を解析したソリデーのセリフで名前のみ登場

イリス(129)

- *影なる戦士の暗殺部隊のメンバー
- *表の顔は、酒場の看板娘
- *鋭い聴覚
- *洞察力は高い
- *戦闘の主要武器は長い毒針
- *毒に対する耐性を訓練で身につけた
- *ラントの電撃シビレにも耐性
- *ルティーンとのバディ
- *口が悪いけど無駄に明るい
- *過去のつらい体験から精神を病んでいるのでは

ウーフ(37)

↓大陸魔法協会受付のお姉さん



やらかして五十年以上の出禁
 *「生涯出禁」だと思われま
 *失脚して若かりしデンケンに
 庇って貰うも復帰は叶わず
 *戦いを求めるゼーリエに師事
 するも戦いのない時代に生ま
 れたので名を残せなかった
 とかとか言ってますが出禁と
 いう文字のインパクトからは
 そんなに恰好良さげな話では
 なかったのでは：
 *ゼーリエに自分が生きた証を
 残すためフリーレンに戦いを
 挑んだというのも単に「強い
 奴を倒したかった」だけ疑惑
 *滅茶苦茶に魔法の才能はあり
 *あの「脱出ゴーレム」の開発
 ・製造を行っただけでも：
 *マハトも恐れずにエーデルと
 ともに立ち向かい情報を収集
 *聖杖の証を知っていた
 *無資格のフリーレンにも一級
 魔法使い試験の受験を認めた
 *エーレは孫娘

レンゲ(40)

*一級魔法使い試験の受験者
 (不合格)

*ちっちゃくてかわいい少女
 *第一次試験では、メトードと
 トーンとのパーティーに編成
 *第二次試験で死のトラップに
 捕まって瓶を割って脱出
 *無傷ですが試験は不合格
 *何かの才能がある描写は特に
 ありませんが試験勉強をして
 いる描写はあります



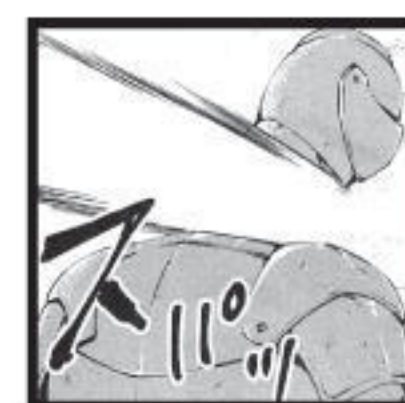
*オイサーストを去る馬車には
 メトードとトーンに同乗して
 います。が古くからの知り合い
 なのか、たまたま帰る方向が
 一緒だからかは不明
 *状況的にメトードは美味しく
 いただいていたそう：
 *セリフもなく動かしにくそう
 なので二次創作は少な目
 *ロリー一枚絵の需要はあり

レーヴェ(126)

*影なる戦士暗殺部隊リーダー
 *表の顔は帝国の最北端ロルベ
 *「ア領の総督」お貴族様か
 *「閣下」と呼ばれる
 *おつきの「爺」はレーラー
 *子供の頃の本名はヘルト
 *右目に負傷痕のアイパッチ
 *二十年前に大魔法使いのミ
 又スを討ち取ったといった噂
 (たぶん確定)もある手練れ
 *子供の頃に南側諸国の戦争で
 ミー又スによって兄と故郷の
 町を失う
 *ゼーリエを暗殺しようとする
 目的は「魔法のない世界」
 *そうする動機はあると言える
 *これを解決すればゼーリエの
 死亡回避ルートになりそう

レーラー(147)

*大昔のヘルト(レーヴェ)の
 国での最強の戦士
 *ヘルトを弟子にして育てる
 *レーヴェの表の顔での出世に



牢番(15)

*フリーレンが拘束されていた
 グラナト伯爵屋敷の地下牢の
 出入口の衛兵
 *ドラートにより瞬殺された
 *フリーレンが街の中から姿を
 消して郊外のアウラの所へと
 行く口実ができた

伴い、おつきの「爺」ポジ
 *老化に伴う現在の腕前は不明

ロツフェル(前奏2)

*フリーレンの故郷のエルフ
 *激辛料理造りに目覚めた女性

ロレ(129)

*影なる戦士の暗殺メンバー
 *表の顔は教会のシスター
 *女神の呪文の使い手
 *クレマティスが自分の後継と
 期待している実力
 *魔法力よりは政治力と采配力
 への期待か
 *高度な魔法探知能力を持つ
 *フリーレンがかけた銀貨への
 追跡魔法を見破り逆探知
 *フェルンの空中からの遠距離
 射撃がかすって気絶敗北
 *メンタルにダメージを負って
 戦力外でおやすみ中
 *まだ若そうにも見えるけれど
 ザインにとつて「年上のお姉
 さん」の候補なのかも：
 *舞踏会に顔を出せずザインと



顔を会わせなかったあたりに
作劇の作為を感じます
*「帝国編」の一件落着後に、
出会ったザインに発見されて
壮絶に振る展開に期待

渡し守(78)

*北部高原のコリアード湖岸の
渡し守
*ヒンメル自伝の搜索を依頼
*書庫の封印を解いて貰った
*ヒンメル自伝はフリーレンに
譲った
*イケメンポーズ集は知らない
かな：

[葬送のフリーレン]
公式 前日譚小説
「前奏」&「前奏2」好評発売中!!
フリーレン
人間を知
旅に出る、
少し前の..
フェルン、シュタルと
それぞれを主人公

考証の「公式」認定のこと

筆者は本書のように、大好きな作品への「評論」くすなわち
作品から読み取れる情報を整理して、あれこれ考えるくすなわち
楽しみにしております。まあこれは筆者に「創作」能力がない
ことも大きな理由なのですが。

そして自分の作品への「独自解釈」を入れない姿勢とも関連
するのですが、この際に作品自身から読み取れる情報と、そう
でない情報は明確に区別しています。たとえば自分は、アニメ
「葬送のフリーレン」第一期は好物で第二期も心から楽しみに
しておりますが、しかし原則としてアニメが独自に入れている
カットなどは作品世界を考えるうえでは無視しています。ネタ
にはしていますけどね。

基本的には、山田鐘人先生が創った物語にアベツカサ先生が
絵をつけている「漫画」を「公式」情報として自分が考証を
行う際の原典にしていますが、最近これに「八目迷」先生の
小説も加えても良いと判断しましたので、そうしています。
山田鐘人先生が八目迷先生を起用した経緯は小説「前奏」や
「前奏2」などにも記されていますが、基本的には山田鐘人
先生が八目迷先生の作品やキャラへの深い理解に感銘を受け
かつ小説出版に際してきっちり監修を入れていることは明白
であり、山田鐘人先生の設定や構想に矛盾する内容はないで
あろうと判断されるためです。そしてとうとう小学館の広告
でもデカデカと「公式」認定されるに至りました。
そんなわけで本書でも、人名辞典の出典として、小説版に
しか登場しない内容でも、項目を作ることにした次第です。

あとがき

本書は二〇二四年冬から作り続けている同人誌「シュミの葬送のフリーレン人名辞典」の増補最新改訂版です。原作が連載中なので、今後もしそれに応じて更新を細々で行う予定です。評論系を自認する自分として、もう少し考証に寄せての「年表」や「地名辞典」などの同人誌発行も構想しているのですが、結局今回もこれだけになりました。

「葬送のフリーレン」は人間を描くことが主題と言って良いファンタジー漫画でありキャラの性格付けや人間関係が大変魅力的な物語です。二〇二三年に第六〇話までがアニメ化されて、これが原作の良さを生かしつつアニメで表現を脹らませた大変な傑作であるため大ヒットし、間もなく二〇二六年から放映を開始するアニメ二期もこのクオリティでやってくれるのではと大いに期待されているもので、本当に楽しみであることですね。

ここまでおつきあいを頂きまして、ありがとうございます。今後ともよろしくお願いします。

シュミの 「葬送のフリーレン」 人名辞典2025年冬 (147話対応版)

発行：風使いのKARASU

発行日：2025年12月30日

印刷所：近所のコンビニ

本書のテキストなどの無断転載を禁じます